

六地藏について

樋口勝治

一 自己紹介(四月一四日初めて参加)

二 上杉さん北條さんとの出会い

両氏は学校の先輩です。そして以前にふるさと講座でお話を聞きました。特に北條さんのお爺さんの絵がかれた絵を持参されお話をお聞きした事が、印象にのこっています。

三 本日の議題は、北條さんが管理

されている六地藏について

まず北條さん宅の道順そして庭にある大きな百日紅の木あります。百日紅の木のいわれもお聞きしたいです。

四 六地藏のある場所の道順

○六地藏のある所の全景

○六地藏全体を写す(しかし七体あります。後で説明してください。)

○六地藏個々に写した写真の説明(詳しくは北條さんお願いしたい。)

五 六地藏について

六地藏は一一世紀頃からさかんに作られましたから、ちようど平安時代の終わりごろからです。お寺や墓場の入り口に置かれることが多い。

六地藏とは、地藏が六道地獄(じごく)、餓鬼(がき)畜生(ちくしよう)修羅(しゅら)人界(じんかい)天上(てんじょう)に、死んだ後に生まれ変わる人々を助ける六種の分身。

六つの道と、六種の分身とは、

「地獄道」罪が罪を生む苦の世界、地獄道にいる『檀陀地(だんだじぞう)』

「餓鬼道」飢え、欲張りの世界、餓鬼

道にいる『宝珠地藏(ほうしゅじぞう)』

「畜生道」動物的無道德の世界、畜生

道にいる『宝印地藏(ほういんじぞう)』

「修羅道」争い続け、平和のない世界、

修羅道にいる『持地地藏(じじじぞう)』

「人界道」生老病死、天災に悩まされ

る世界、人間界にいる『除蓋障地藏(じ

ようがいしようじぞう)』

「天上道」天上界にいる『日光地藏(に

っこうじぞう)』

六 次に赤穂民報に記載されていた、

誓教寺(高野)へ四月二五日に見学に行
た。昼の説法が聞けなくて残念。
ってきました。

市文化財指定(三界六道図絵) 御絵
誓教寺で説法聞きながら、後ろから
解法要 春らしい風が。やっと春が来たかと思
いました。

一〇〇〇〇〇一五〇〇頃まで和尚さ
んの説法がありました。

しかし、私は全部聞けなくて残念で
した(朝はGG、昼は会社のOB会のカ
ラオケ)。

そのなかで一一時〜一二時の短い
間でしたが良い説法を聞きました。
中には東京から来られていました。
昼にはきつねずしが振る舞われまし



北条家の墓地（田尾元三昧）



六地藏さんと迎え地藏